

普通・短期課程

家を建てるなら

1年

定員10人

建築科



特色

- ◆ 県立の建築技能者養成施設です。
- ◆ これまで70年以上、多くの技能者を企業へ輩出してきました。
- ◆ 関連資格や安全教育等修了証を取得できます。
- ◆ 修了すると建築関連資格が実務経験年数短縮で受験できます。

実習環境

- ◆ 明るく広い実習場とさまざまな木工機械や電動工具等がそろっています。

就職状況

- ◆ 大工、現場管理、設計等の建築関連企業へ採用されています。

指導員から

住宅を造る仕事は、これからも無くなることはありません。
仲間たちと一緒に腕を磨き、カッコイイ大工を目指そう!!

訓練期間	定員	課程	応募対象年齢 (令和7年4月1日現在)	実習教材費
1年	10人	普通課程	18歳以上45歳以下	70,000円
		短期課程	18歳未満	

訓練目標	木造建築物についての設計・施工と、建築大工としての工具類の取扱いや豊富にある地域の木材を活用した木組みの知識・技能を習得し、実践できる建築職業人を育成する。		
仕上がり像	<ul style="list-style-type: none"> ・建築図面の作図・読解ができること。 ・軸組各部の墨付け及び切組みができること。 ・木造躯体工事ができること。 ・室内造作ができること。 		
資格取得目標 《 》内は受験料で別途必要です。	で在 校中 資格 取得	普通 課程	<ul style="list-style-type: none"> ・携帯用丸のこ盤作業従事者安全教育修了証 ・自由研削用と石取替え等業務特別教育修了証 ・技能検定3級建築大工、大工工事作業《12,100円》
	で修 了後 資格 取得	普通 課程	<ul style="list-style-type: none"> ・小型移動式クレーン運転技能講習修了証《31,400円》 ・フォークリフト運転技能講習修了証《30,250円》 ・玉掛け技能講習修了証《23,650円》 ・技能検定2級建築大工技能士《学科免除》 ・2級建築施工管理技術検定《受験資格の実務経験年数に1年 算入できます。》 ・2級建築士・木造建築士《免許の登録要件の実務経験年数短縮 7年⇒3年》 ・木造建築物の組立て等作業主任者《受験資格の実務経験年数短縮 3年⇒2年》 ・木材加工用機械作業主任者《受講資格の実務経験年数短縮 3年⇒2年》

対応職務	建築大工、施工管理等			
訓練 の 内 容	科目	科目の概要	時限数	
	学 科	木質構造	在来軸組工法 和風造作 洋風造作	30
		木造建築施工法	施工計画 仮設工事 土工事・基礎工事 木造躯体工事 屋根工事 左官工事 内外装工事 その他の工事	30
		建築製図	製図用具 建築製図通則 建築図面の作図・読解	40
		その他	関係法規 建築設備 木造建築材料 規矩術 工作法 構造力学概論	324
	学 科 計			424
	実 技	器具使用法	手工具の調整及び整備 手工具の選択及び取扱い	120
		工作実習	仕口・継ぎ手の墨付け及び切組み 軸組各部の墨付け及び切組み 構脚木の墨付け及び切組み	300
		木造建築施工実習	作業段取り及び材料取扱い作業 木造躯体工事 室内造作作業 基礎工事作業	410
		その他	機械操作基本作業 測量基本実習 安全衛生作業法	150
実 技 計			980	
合 計			1,404	

年度	R03	R04	R05	＜主な就職先＞ イワサキ工事(有)、(株)田部農場、平畑建設(株)、ハラミタ自然農園、(株)Cobain、(株)Confidence、(株)原井隆建築設計事務所、(株)ロッカク工務店、(株)松岡工務店、(有)森本工務店、(有)谷口設計事務所、(有)八重製材所、(株)HARA建築工房、ミサワ中国建設株、(有)尾美建設、(株)佐々部木材店 等
修了者就職率	100%	33%	100%	

大工の仕事について

※出典：job tag（厚生労働省職業情報提供サイト（日本版O-NET））

どんな仕事？

一般住宅、とりわけ木造住宅の新築や増改築の計画、構造施工の中核的な作業を行う。

大都市圏を中心に建物の高層化・不燃化が進み、鉄骨造・鉄筋コンクリート造など木造でない建築も増えているが、その内部には木質系の素材を使用するが多い。そうした内部設備の加工、組立て、取付けを行うことも多い。

仕事は、木工事を中心に、構造組み、造作加工などの作業の他に、建築計画を立て、建築主と相談しながら費用を見積り、工期を設定し、必要な資材や技能者を手配するなど工事請負人としての仕事や、建築現場で他職種の技能者を組織して、計画どおり工事が進むようにする工事管理の仕事など、広範囲にわたる。

住宅建築では、プラスチック系や金属系、窯業系など、木材系以外の建築資材が多用されている。それに合わせて、そうした建築資材の性質や、接着剤、接合金物類などの知識が求められる。また、ノコギリやノミ、カンナなど古くからある道具の他に、いろいろな電動工具・加工機具が使われるようになり、そうした工具・機具を使いこなすことも求められる。大工は工務店の経営者であることが多く、そうした場合には、工程・品質・原価など、工事を管理していくための知識や、人を指揮する能力も要求される。

タスク（職業に含まれる細かな仕事）

- ・手動工具、機械、動力のこぎりを使用して、木材を指定された寸法に切る。
- ・材料を釘や接着剤で組み合わせ、建築物の基礎構造をつくる。
- ・窓や床材、飾り外装、建築金物といった構築物や備品を取り付けるために動力工具を操作する。
- ・定規、鉛筆、チョーク、罫引きを使用して、木材を測定して切断線を付ける。
- ・手動工具を使用して、構築物の損傷部品や不良部品を除去し、修理または交換する。
- ・下げ振りと水準器を使用して構築物の位置確認をする。
- ・設計図、見取図、建築図を見て、資材と製造する構築物の寸法を決定する。
- ・建築現場でほかの作業者との連絡調整や工事管理をする。
- ・建築計画、設計、費用の見積もり、工期の設定、資材や作業者の手配をする。
- ・必要な用材の種類と数量を見積もり、選定して発注する。
- ・定規、直角定規、カリパスを使用して、設計図に従って配置図を作成する。

就業するには？

入職にあたって、特に学歴や資格は必要とされない。工務店への入職や大工の親方（棟梁）に弟子入りする方法と、公共職業訓練校や事業所内職業訓練校で所定の訓練を行った上で事業所へ就職する方法などがある。

大工は、伝統技術を受け継ぎながら新しい住宅建築への要求に応じていくだけの向上心と器用さ、更には体力が必要とされる。ただし、電動工具などの大道具の機械化で大工の仕事の肉体的な負荷の軽減も進んでいる。

技術と統率力が向上すれば独立することも可能である。工務店の経営者になると工程、品質、原価など工事を管理していくための知識や指導力が求められる。なお、規模の大きな木造住宅の設計、工事管理をするためには、「二級建築士」や「木造建築士」の資格が必要で、親方の多くは、二級建築士や木造建築士資格を保有している。

労働条件の特徴

作業現場が移動することや屋外での作業が多い。現場が遠い場合、実働時間を確保するために往復時間の分だけ拘束時間が長くなることもある。屋外での作業は季節によっては日照の長短や天候の影響を受けやすい。

雇用形態は、「常用」で日給月給による雇用契約と、「手間請負」の契約がある。「常用」の労働時間は原則として8時間である。「手間請負」では、作業者との合意の上で早出や残業を行ったりする例もある。週休制を導入している場合が多く、お盆と年末、正月に休みとなるほか、特定の祝日を休む業者もある。天候の状況で雨天が休日になる場合や寒冷地・積雪地などでは冬季休業のケースもある。

統計データ（広島県）

就業者数	：	5,880 人	年 齢(平均)	：	47.9歳
労働時間(月間)	：	161時間	求人賃金(月額)	：	20～33.4万円
賃 金(年収)	：	361.6万円	有効求人倍率	：	1.87